

山陰の「企業短期経済観測調査」結果（2026 年 9 月調査）

（１）業況判断 D. I.

業種	最近（前回）		先行き
全産業	21（18）	前回調査比改善（16 四半期連続の「良い」超）。	9
製造業	24（12）	前回調査比改善（3 四半期連続の「良い」超）。	10
非製造業	18（20）	前回調査比悪化（17 四半期連続の「良い」超）。	9

- ・製造業は、鉄鋼やはん用・生産用・業務用機械を中心に受注が増加していることなどから、全体では、前回調査差+12%ポイント改善し「24」となった。
- ・非製造業は、卸売や対個人サービスでコスト上昇に伴う収益の悪化がみられることなどから、全体では、前回調査差▲2%ポイント悪化し「18」となった。
- ・先行き（全産業）は、製造業・非製造業ともに、先行きの不透明感などから悪化を見込んでおり、全体では、最近と比べて▲12%ポイント悪化し「9」となる見通し。

（２）売上・収益計画

- 2026 年度の売上高（全産業）は、前回調査と比べて上方修正され、6 年度連続の増収計画となっている。
- 2026 年度の経常利益（全産業）は、前回調査と比べて上方修正されたものの、3 年度連続の減益計画となっている。
- 2026 年度の売上高経常利益率（全産業）は、前回調査と比べて上方修正されたものの、前年度を下回る計画となっている。

（３）設備投資計画

- 2026 年度の設備投資額（全産業）は、前回調査と比べて上方修正されたものの、2 年度振りの減少計画となっている。

以 上

山 陰 の 「 企 業 短 期 経 済 観 測 調 査 」 結 果 （ 2026 年 9 月 調 査 ）

調査対象： 鳥取・島根両県 166 企業（回答先 166 企業〈回答率 100.0 %〉）
 うち製造業 53 企業（回答先 53 企業〈回答率 100.0 %〉）
 非製造業 113 企業（回答先 113 企業〈回答率 100.0 %〉）

【回答期間(8月26日～9月30日)中の市況動向】

【業況判断D.I.のピーク・ボトム(1991年2月調査以降)】

	円相場(円/ドル)		株価(円)		業況判断D.I. (％ポイント)			
	【17時時点のスポットレート】		【日経平均終値】		ピーク	調査回	ボトム	調査回
	ピーク	ボトム	ピーク	ボトム				
26/9月調査	153.12	159.99	66,753.72	63,484.10	全産業	31	91/2月	▲ 60 09/3月
26/6月調査	159.27	162.26	72,366.34	64,024.60	製造業	33	91/2月	▲ 72 09/6月
					非製造業	28	91/2月	▲ 53 09/3月

- ・ 本件に関するお問い合わせは、日本銀行松江支店総務課(0852-32-1503)までお願いします。
- ・ 本ペーパーは、日本銀行松江支店のホームページ(<https://www3.boj.or.jp/matsue/>)からご覧になれます。

1. 業況判断

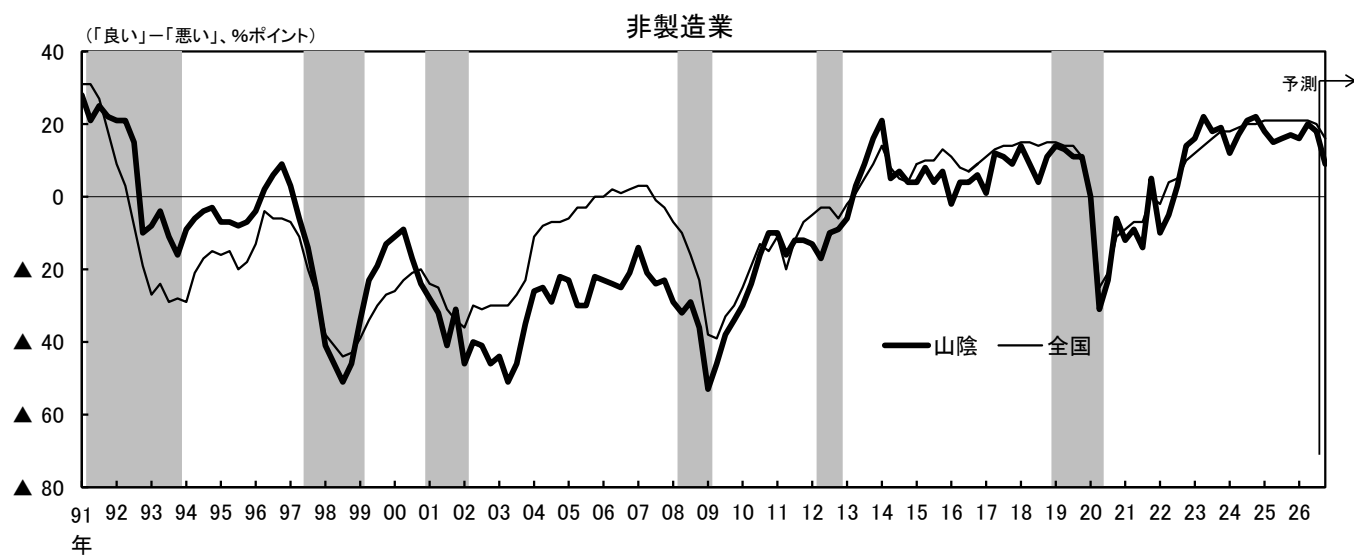
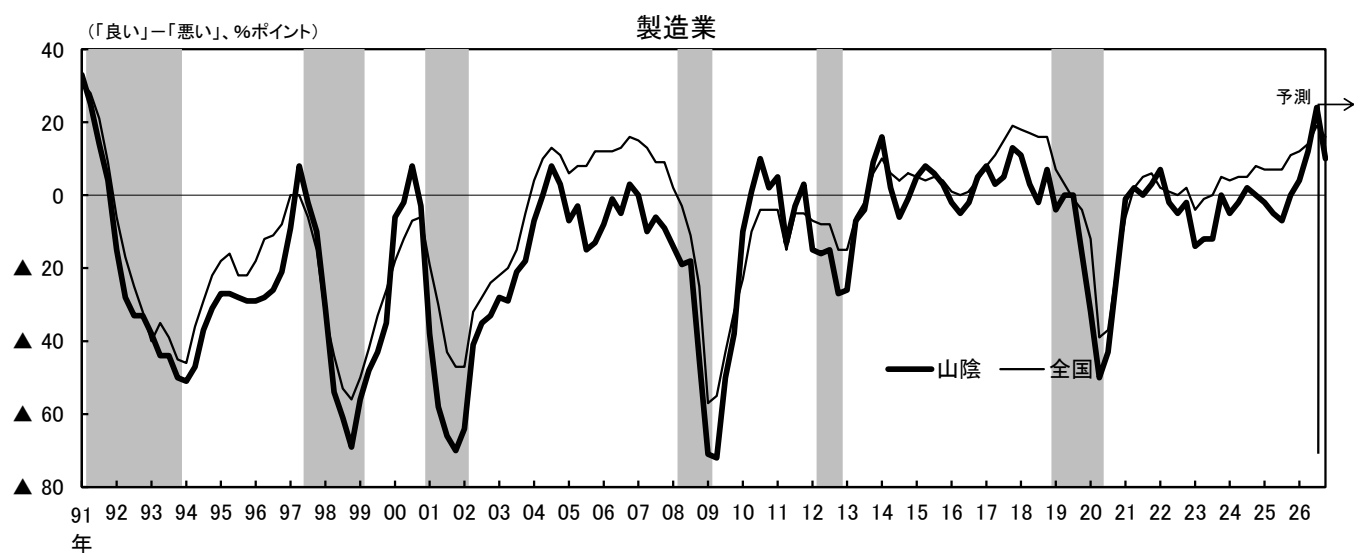
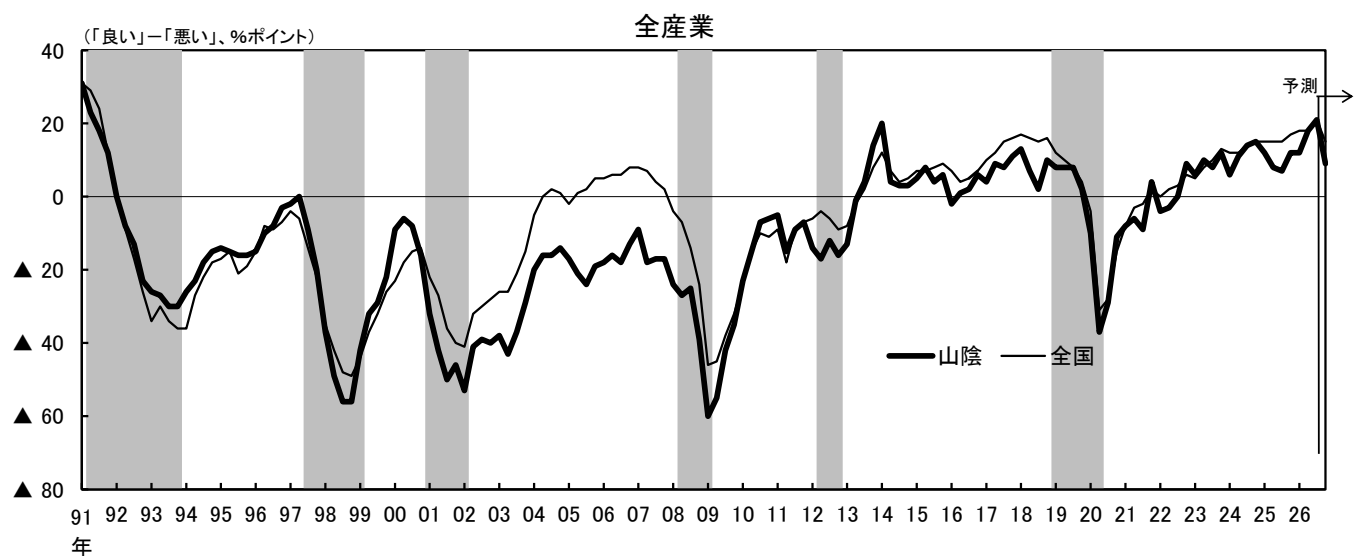
(1) 業種別動向

「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%ポイント

(業 種) (調査時点)		2026年6月調査		2026年9月調査		
		最 近	先行き	最 近	先行き	変化幅
				変化幅		
山 陰・全 産 業		18	7	21	3	▲ 12
製 造 業		12	0	24	12	▲ 14
	食 料 品	50	40	40	▲ 10	20
	織 維	—	—	—	—	—
	木 材 ・ 木 製 品	0	▲ 20	20	20	0
	紙 ・ パ ル プ	67	33	67	0	0
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	20	0	0	0
	鉄 鋼	0	20	60	60	▲ 40
	は ん 用 ・ 生 産 用 ・ 業 務 用 機 械	▲ 29	▲ 57	15	44	▲ 43
	電 気 機 械	20	20	0	▲ 20	20
	輸 送 用 機 械	25	25	50	25	▲ 25
非 製 造 業		20	9	18	▲ 2	▲ 9
	建 設	26	13	26	0	▲ 9
	不 動 産	50	50	50	0	0
	物 品 賃 貸	0	33	33	33	0
	卸 売	15	▲ 21	7	▲ 8	▲ 14
	小 売	12	0	12	0	▲ 6
	運 輸 ・ 郵 便	▲ 17	0	▲ 17	0	▲ 17
	情 報 通 信	27	27	9	▲ 18	9
	電 気 ・ ガ ス	0	0	0	0	0
	対 事 業 所 サービス	43	29	43	0	14
	対 個 人 サービス	0	▲ 25	▲ 25	▲ 25	▲ 25
	宿 泊 ・ 飲 食 サービス	35	23	41	6	35
全 国・全 産 業		18	11	21	3	▲ 6
製 造 業		14	7	19	5	▲ 3
非 製 造 業		21	14	20	▲ 1	▲ 4

(注) 「最近」の変化幅は、前回調査との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。以下同じ。

(2) 業況判断の推移



(注) シャドー部分は景気後退局面（内閣府調べ）。

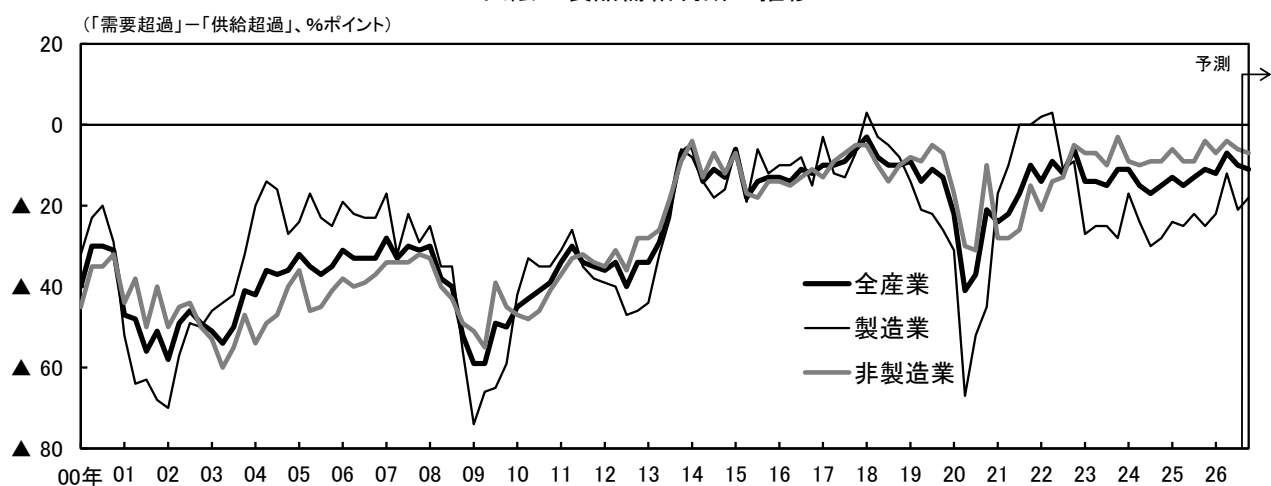
2. 製品需給と在庫判断

(1) 製品需給判断

「需要超過」－「供給超過」、回答社数構成比、%ポイント

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近	変化幅	先行き	変化幅
山陰・全産業	▲ 7	▲ 9	▲ 10	▲ 3	▲ 11	▲ 1
製 造 業	▲ 12	▲ 19	▲ 21	▲ 9	▲ 18	3
非製造業	▲ 4	▲ 5	▲ 6	▲ 2	▲ 7	▲ 1

山陰の製品需給判断の推移

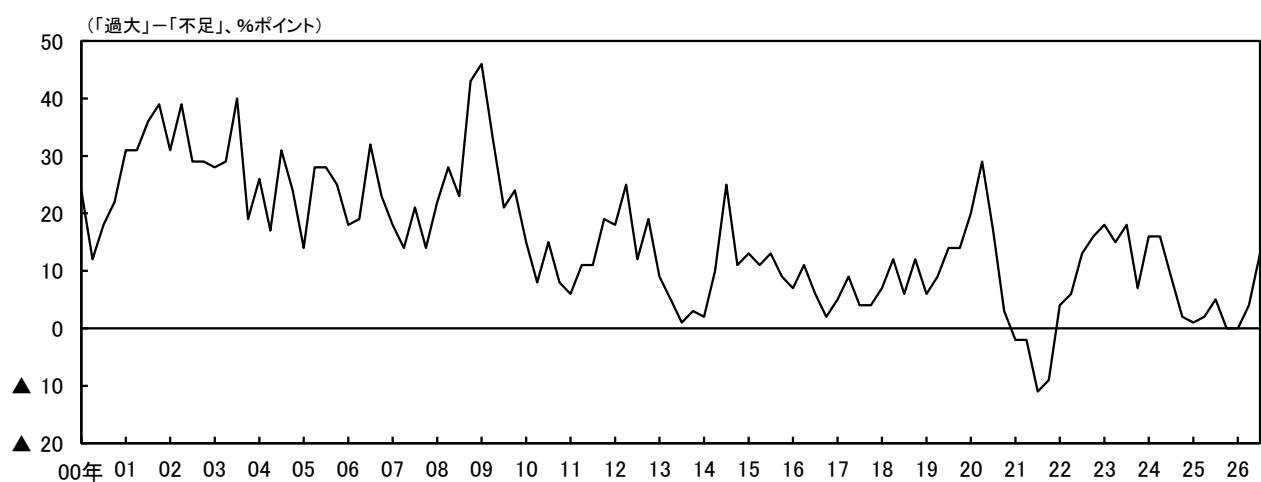


(2) 製商品在庫水準判断

「過大」－「不足」、回答社数構成比、%ポイント

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査	
	最 近	先行き	最 近	変化幅
山陰・製造業	4		13	9

山陰・製造業の製商品在庫水準判断の推移



3. 価格判断

(1) 販売価格判断

「上昇」－「下落」、回答社数構成比、%ポイント

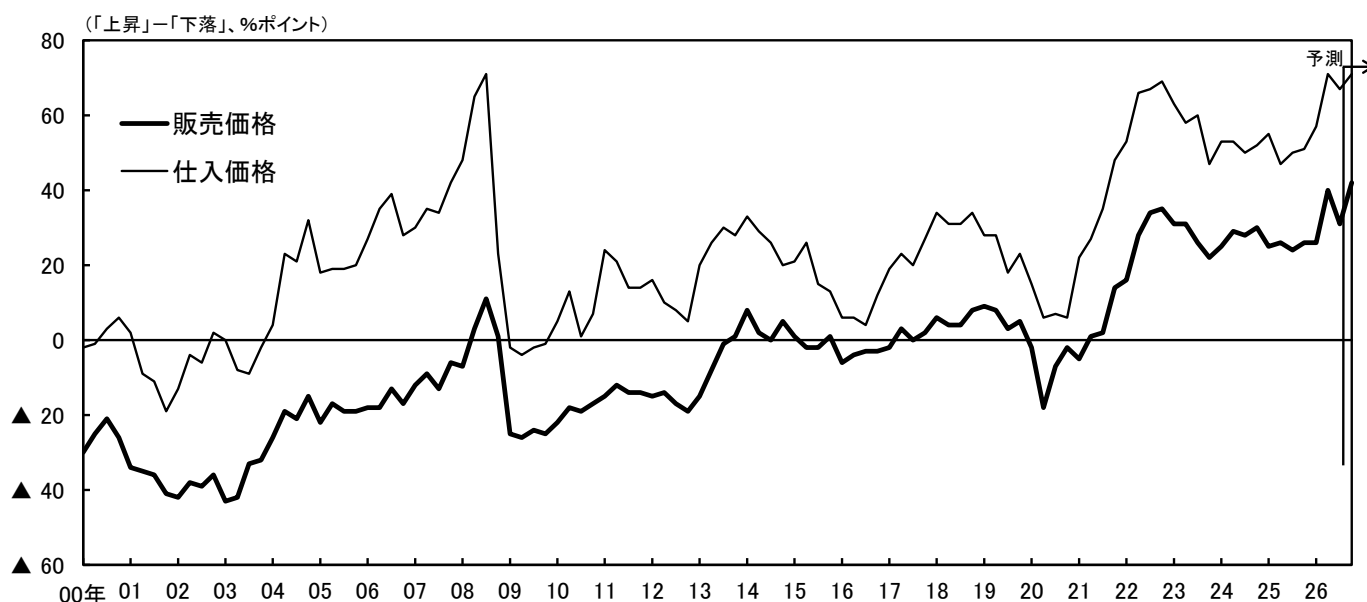
(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近	変化幅	先行き	変化幅
山陰・全産業	40	48	31	▲ 9	42	11
製 造 業	47	51	37	▲ 10	47	10
非製造業	36	47	30	▲ 6	40	10

(2) 仕入価格判断

「上昇」－「下落」、回答社数構成比、%ポイント

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近	変化幅	先行き	変化幅
山陰・全産業	71	76	67	▲ 4	71	4
製 造 業	71	85	69	▲ 2	76	7
非製造業	71	73	66	▲ 5	68	2

山陰・全産業の価格判断の推移



4. 売上・収益計画

(1) 売上高

前年度比、前年同期比、（ ）内は前回比修正率、%

	2025年度＜実績＞			2026年度＜計画＞		
		上期	下期		上期	下期
山陰・全産業	2.8	4.1	1.6	2.3 (3.0)	2.6 (2.7)	2.0 (3.2)
製造業	0.0	1.2	▲ 1.1	2.5 (4.4)	3.4 (4.6)	1.6 (4.2)
非製造業	7.9	9.5	6.5	1.9 (0.6)	1.1 (▲ 0.4)	2.6 (1.6)

(2) 経常利益

前年度比、前年同期比、（ ）内は前回比修正率、%

	2025年度＜実績＞			2026年度＜計画＞		
		上期	下期		上期	下期
山陰・全産業	▲ 8.1	▲ 6.6	▲ 9.7	▲ 6.8 (2.0)	▲ 3.3 (10.3)	▲ 10.4 (▲ 6.0)
製造業	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 11.0	▲ 6.3 (3.5)	▲ 3.1 (13.6)	▲ 9.8 (▲ 6.4)
非製造業	1.3	7.1	▲ 2.7	▲ 9.5 (▲ 5.7)	▲ 4.5 (▲ 7.8)	▲ 13.1 (▲ 3.9)

(3) 売上高経常利益率

（ ）内は前回比修正幅、%、%ポイント

	2025年度＜実績＞			2026年度＜計画＞		
		上期	下期		上期	下期
山陰・全産業	7.20	7.54	6.89	6.77 (0.07)	7.33 (0.63)	6.24 (▲ 0.47)
製造業	10.67	11.32	10.04	10.29 (0.23)	11.17 (1.17)	9.41 (▲ 0.71)
非製造業	2.58	2.33	2.82	2.31 (▲ 0.16)	2.20 (▲ 0.18)	2.42 (▲ 0.13)

5. 設備投資計画等

(1) 設備投資額（含む土地投資額）

前年度比、%

	2025年度 ＜実績＞	2026年度	
		＜計画＞	前回比 修正率
山陰・全産業	102.1	▲ 1.1	10.4
製 造 業	134.0	▲ 16.5	▲ 1.7
非製造業	19.7	77.2	57.0

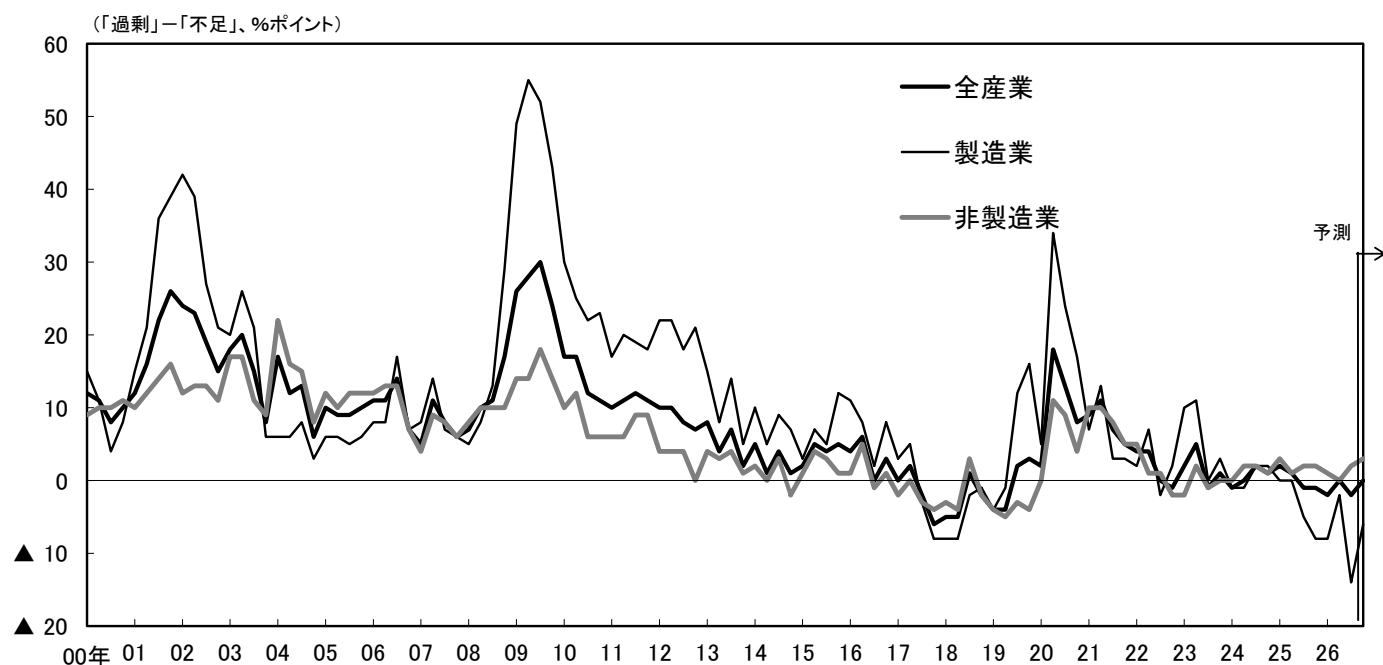
（注）リース会計対応ベース。

(2) 生産・営業用設備判断

「過剰」－「不足」、回答社数構成比、%ポイント

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近		先行き	
				変化幅		変化幅
山陰・全産業	0	0	▲ 2	▲ 2	0	2
	▲ 2	0	▲ 14	▲ 12	▲ 6	8
	0	0	2	2	3	1

山陰の生産・営業用設備判断の推移



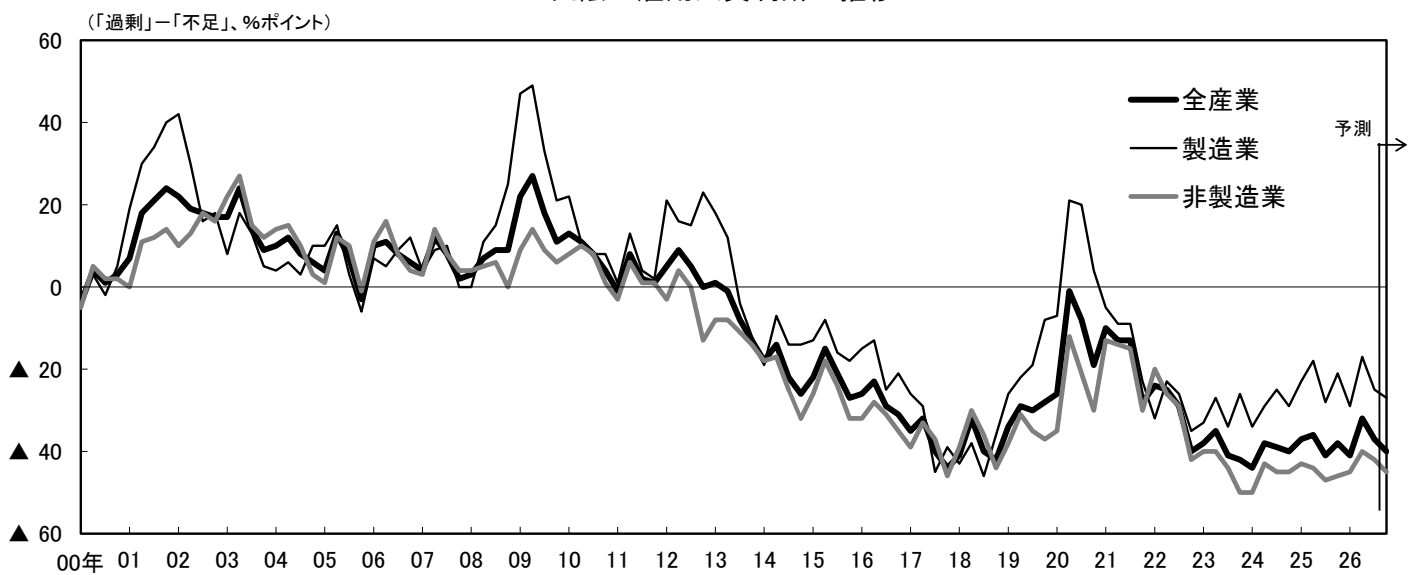
6. 雇用

雇用人員判断

「過剰」－「不足」、回答社数構成比、%ポイント

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近	変化幅	先行き	変化幅
山陰・全産業	▲ 32	▲ 38	▲ 37	▲ 5	▲ 40	▲ 3
製 造 業	▲ 17	▲ 29	▲ 25	▲ 8	▲ 27	▲ 2
非製造業	▲ 40	▲ 42	▲ 42	▲ 2	▲ 45	▲ 3

山陰の雇用人員判断の推移



(1) 資金繰り判断

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査	
	最 近	先行き	最 近	変化幅
山陰・全産業	3		4	1

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査	
	最 近	先行き	最 近	変化幅
山陰・全産業	10		10	0

(調査時点)	2026年6月調査		2026年9月調査			
	最 近	先行き	最 近	先行き		
				変化幅	変化幅	
山陰・全産業	55	65	63	8	65	2

The figure consists of two line charts sharing a common x-axis representing years from 2000 to 2026.

Top Chart:

- Left Y-axis:** 資金繰り(左目盛) (Capital Circulation, Left Scale), ranging from 0 to 40.
- Right Y-axis:** 貸出態度(右目盛) (Lending Attitude, Right Scale), ranging from 0 to 40.
- Legend:**
 - 資金繰り(左目盛) (Capital Circulation, Left Scale)
 - 貸出態度(右目盛) (Lending Attitude, Right Scale)
- Trends:**
 - 資金繰り(左目盛):** Starts around 10 in 2000, drops to a low of approximately 25 in 2002, then rises steadily to about 15 by 2009. It remains relatively stable until 2013, then rises to a peak of about 30 in 2019, before declining to around 10 by 2023. The forecast shows a slight increase to about 15 by 2026.
 - 貸出態度(右目盛):** Starts around 5 in 2000, rises to about 10 by 2002, then fluctuates between 10 and 20 until 2009. It then rises to a peak of about 30 in 2019, before declining to around 10 by 2023. The forecast shows a slight increase to about 15 by 2026.

Bottom Chart:

- Y-axis:** 借入金利水準 (Borrowing Interest Rate Level), ranging from 0 to 70.
- Legend:**
 - 借入金利水準 (Borrowing Interest Rate Level)
- Trends:**
 - 借入金利水準:** Starts around 10 in 2000, peaks at about 20 in 2001, then drops to a low of about 5 in 2002. It rises to a peak of about 50 in 2007, then drops to about 10 in 2009. It remains relatively stable until 2013, then rises to a peak of about 65 in 2019, before declining to around 40 by 2023. The forecast shows a sharp increase to about 70 by 2026.